

## NPO法人しらおい創造空間「蔵」

「蔵」は、酒造業者が大正6年から13年ごろにかけ建設したといわれています。その後、農業協同組合が倉庫として使用していましたが、「町内に残る数少ない歴史的建造物の保存と芸術文化の発信拠点に」との町民の熱い声を受け町が購入。町民有志が運営母体として設立した町文化推進ネットワーク協議会（平成15年にNPO法人取得）が、町費と道の補助金を活用して平成11、12年に改修工事を行い、しらおい創造空間「蔵」をオープンさせました。

### ■課題解消へ事業再考

以来、管理運営、各種教室や講習会・展示会の開催、演劇やコンサートといった鑑賞事業など町の社会教育委託事業に取り組み実績を残し、軟石の壁に囲まれたホールも醸し出すレトロな雰囲気と音響は演者の高い評価を得てきました。自主運営に伴う厳しい経営状況や情報発信の弱さもあり、活動の停滞との声も上がっていました。

これらの解消に向け同法人は今年、広報活動・会員拡充の取り組み強化や事業内容の精査、施設利用の拡大、役員体制の一

新しと、初期の目標に立ち返り、運営・事業の在り方を再考しています。

### ■新しい役割を模索

新たな視点では、白老には郷土資料館がないため「白老の歴史や映像を残すのも役割ではないか」と、郷土教育としての蔵での資料・作品展示も考えています。手始めに蔵の建物を調べ、歴史的価値を明らかにしたい、としています。また、コロナ禍や情報化時代への対応として、SNSを活用した情報発信はもちろん、ステーションのオンライン映像配信、テレワークやシェアオフィスの事業展開も検討しています。また、蔵の建物の修復費用などをクラウドファンディング（CF）インターネット上で事

### 「実績を踏まえ事業再考」



「実績を踏まえつつ、まちが元気になる新展開を目指したい」と話す新会長の毛笠さん(左)、事務局の栗栖マキさん

### 今後の自主・共催企画

#### 9月

- ▼13日(月) JA共催バイオリンコンサート
  - ▼19日(日) つきのさんぽライブ
  - ▼23日(木・祝) 渡辺えりコンサート
  - ▼25日(土) トリオーガニック2021北海道ツアー 白老公演
- 10月
- ▼16日(土) 空に油…ヤヒロトモヒロLIVE

### 「集い、つながる場で白老を元気に」

5月に新会長に選出された毛笠史寛さん(35)は「だれでも気軽に集い、つながる場にしたい。音楽や演劇などのイベントにとどまらず活動の幅を広げ、ホールのクオリティやスタッフのスキルを含め施設の持つ機能をフルに発揮してまちを活性化したい。『白老を元気に』が目標です」と抱負を語っています。連絡先は ☎ 851-3101。

業内容に賛同した不特定多数の人に資金提供を呼び掛ける方法)で募ったところ、8月10日現在、当面の目標額100万円を上回る106万円が71人から寄せられ、支援の大きさに感謝しています。



## ウイマム文化芸術プロジェクト2021

### 歩いて巡る野外写真展「虎杖浜・アヨロ」

山崎壽昭が撮り続けた日常生活の営みの記録と土地の記憶



期間 8月27日(金)～10月11日(月)  
会場 虎杖浜・アヨロ地区海岸通り(海産物ロード)  
主催 文化庁/ウイマム文化芸術実行委員会

戦後の白老・虎杖浜で山崎氏が撮り続けた写真プリント120枚、ネガフィルム約1200カットが2009年、元陣屋資料館に寄贈されました。スケソウタラのすき身干しに精を出す姿、子どもを背負い行商へ向かう女性たち、大量のカニの水揚げに沸く浜、馬と一緒に船を引き上げる風景、浜やアヨロ川で遊ぶ子どもたち…。虎杖浜の日常生活のごくありふれた一場面。その大量の写真とウイマムプロジェクトチームが出逢い、住民協働による写真展を初企画しました。同ロードの使われていない建物など14カ所ほどに、引き伸ばした写真を今昔が分かるよう工夫して展示しています。スタッフは「まち巡りを楽しみつつ昔の人々の生活に思いをはせてもらえれば」と鑑賞を呼び掛けています。